

## 経団連が「経労委報告」に報酬増明記へ 連合は5年ぶり「統一ベア要求」復活か？

マスコミ報道によると、経団連は2014年春闘の経営側の指針となる『経労委報告』に「報酬全体の引き上げを盛り込む」方針を固めました。2013年春闘に向けた経労報告では「ベアは実施する余地なし、定期昇給も企業によっては延期や凍結の可能性あり」としていたのに比べると雲泥の差があります。

経団連の方針転換は、直接的には政府からの「企業収益の改善を賃上げで還元してもらいたい」という協力要請に応えたものです。それは「従業員の賃金を増やした企業は法人税を減税する」という経済対策が前提となっていますが、本音としては「デフレを脱却して物価が上昇しても労働者が賃金を消費に回してくれなければ企業収益は上昇しない」という判断が働いたのではないのでしょうか。

一方、連合・古賀会長は先日行われた大会で「働く者の消費マインドを改善させ、デフレ経済の悪循環を打ち切らなければならない。来春闘では一時金だけではなくベア要求を積極的に検討してほしい」などと、考えを述べています。

国の施策や経団連の方針（思惑）を受けて、わがJR東海はどうするのか。2013年度中間・最終決算は、相当いい数字が出ると思われれます。ただ、会社はこの間「当社の労働条件は、すでに極めて高い水準に達している」との認識を表明しています。しかし、現場で働く社員にはそのような認識はまったくありません。

**社員の皆さん！消費税が8%になれば、会社は消費増税分は運賃・料金に反映させ、企業の収益を確保します。労働者も同じで、賃金に消費増税分が反映されなければ、私たちの賃金は目減りする一方です。消費税分損することになるのです。**

すべての社員の皆さん！2013年度年末手当の増額、2014年度の基本給のベースアップに向けて、声を挙げましょう。JR東海労は皆さんの先頭で闘います。

さて、わがJR東海はどうする？